

2025 年 12 月 1 日

各 位

三井住友ファイナンス&リース株式会社
SMFL みらいパートナーズ株式会社

キオクシア四日市工場 新・第 2 製造棟でオンサイト型自家消費太陽光発電サービスを開始

三井住友ファイナンス&リース株式会社（代表取締役社長：今枝 哲郎、以下「SMFL」）の戦略子会社、SMFL みらいパートナーズ株式会社（代表取締役社長：上田 明、以下「SMFL みらいパートナーズ」）は、キオクシア株式会社（以下「キオクシア」）のグループ会社であるキオクシアエネルギー・マネジメント株式会社とキオクシア四日市工場 新・第 2 製造棟におけるオンサイト型自家消費太陽光発電サービス（PPA モデル※¹）の導入に関する契約を締結し、12 月 1 日に運転開始したことをお知らせします。なお、本件は、2023 年 2 月 1 日のプレスリリース※²、2024 年 7 月 1 日のプレスリリース※³に続き、キオクシア四日市工場における 3 棟目の導入事例となります。

今般の取り組みでは、SMFL みらいパートナーズがキオクシア四日市工場 新・第 2 製造棟の屋根に太陽光パネルを合計 4,600 枚（以下「本設備」）設置し、発電した電力の全量を同工場に供給します。本設備のパネル容量は約 2,700kW、年間発電量約 3,100MWh の電力を供給することが可能となります。既に稼働済みの第 6 製造棟・第 5 製造棟と合算すると、パネル容量は約 10,000kW、年間発電量約 11,000MWh となり、CO₂削減効果は約 4,600 トン（年間）となる見通しです。キオクシアグループは、2040 年度までに再生可能エネルギーの比率を 100%とする目標を設定しており、その手段の一つとして、太陽光発電設備の拡張を行いました。

【キオクシア四日市工場 新・第 2 製造棟（写真下）】



SMFL グループは、再生可能エネルギーや省エネ機器の設備投資におけるさまざまなファイナンスサービスや、太陽光・バイオマス・水力などの再生可能エネルギー事業を通じた CO₂ フリー電力の供給、脱炭素に関する補助金支援サービスなどの事業を展開しています。また、4 つのマテリアリティの一つに「環境」を掲げ、脱炭素・循環型社会の実現に向けた取り組みに注力しています。今後も、企業の脱炭素経営を支援するさまざまなソリューションをワンストップで提供することで、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

※1 PPA（Power Purchase Agreement）モデル

発電事業者が需要家の敷地内に太陽光発電設備を設置し、発電された電力を需要家に供給するサービス

※2 2023 年 2 月 1 日プレスリリース

「キオクシアへのオンサイト型自家消費太陽光発電サービス提供について」

<https://www.smfl.co.jp/news/assets/230201.pdf>

※3 2024 年 7 月 1 日プレスリリース

「キオクシア四日市工場第 5 製造棟でオンサイト型自家消費太陽光発電サービスを開始」

<https://www.smfl.co.jp/news/assets/240701-2.pdf>

以 上

【お問い合わせ先】

三井住友ファイナンス&リース株式会社	広報 IR 部	渡邊 清水	TEL 03-5219-6334
SMFL みらいパートナーズ株式会社	エネルギーサービス部	小山	TEL 03-6695-8230